博士課程前期２年の課程（必修科目及び自由聴講科目）

博士課程後期３年の課程

医療薬学専攻博士課程（薬学履修課程）

シラバス

授業科目名	分子薬科学特論Ｉ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	ＭＣ１年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	分子薬科学全般について基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。			
到達目標	分子薬化学全般に関する様々な事象について、分子的基盤や原理をもとに説明できるようになる。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子薬科学特論Ⅱ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	ＭＣ２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	分子薬科学全般について基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。			
到達目標	分子薬化学全般に関する様々な事象について、分子的基盤や原理をもとに説明できるようになる。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子イメージング特論		科目区分	自由聴講
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC１・２年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	４単位	
授業概要	分子イメージングに関する最新の研究の進展について学び、 今後の方向性や創薬への応用研究の方向性を理解することを目的とする。			
到達目標	分子イメージングに関して分子基盤から理解し説明できるようになる。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子薬科学セミナーⅠ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	ＭＣ１年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	３単位	
授業概要	分子薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子薬科学セミナーⅡ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	ＭＣ２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	３単位	
授業概要	分子薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	課題研究		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	ＭＣ２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	10 単位	
授業概要	薬科学に関する高度な知識をもとに、主体的に課題を発見し、研究を行う。			
到達目標	当該領域を先導する研究を実施し、その成果を発表する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	海外研修		科目区分	自由聴講
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC１・２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	２単位	
授業概要	１週間～３ヶ月程度、海外の大学、研修機関、公共機関等で薬科学に関する実地研修を行う。			
到達目標	本研修を通じて、国際的な環境の下で研究を行い、国際共同研究の進め方、研究内容を社会で実践する方法を習得すると共に体験、理解する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命薬科学特論Ｉ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	ＭＣ１年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	生命薬科学全般に関する基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。			
到達目標	生命薬化学全般に関する様々な事象について、分子的基盤や原理をもとに説明できるようになる。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命薬科学特論Ⅱ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	ＭＣ２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	生命薬科学全般に関する基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。			
到達目標	生命薬化学全般に関する様々な事象について、分子的基盤や原理をもとに説明できるようになる。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命薬科学セミナーⅠ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	ＭＣ１年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	３単位	
授業概要	生命薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命薬科学セミナーⅡ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	ＭＣ２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	３単位	
授業概要	生命薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	医薬製造化学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	医薬製造化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	医薬製造化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	医薬製造化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子設計化学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	分子設計化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子設計化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	分子設計化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	合成制御化学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	合成制御化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	合成制御化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	合成制御化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	反応制御化学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	反応制御化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	反応制御化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	反応制御化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子変換化学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	分子変換化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子変換化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	分子変換化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	医薬資源化学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	医薬資源化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	医薬資源化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	医薬資源化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	界面物性化学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	界面物性化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	界面物性化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	界面物性化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生物構造化学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	生物構造化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生物構造化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	生物構造化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子動態解析学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	分子動態解析学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子動態解析学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	分子動態解析学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子イメージング薬学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	分子イメージング薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子イメージング薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	分子イメージング薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子薬科学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	分子薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子薬科学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	分子薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子薬科学特別研究		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC３年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	20 単位	
授業概要	分子薬科学に関する高度な知識をもとに、主体的に課題を発見し、研究を行う。			
到達目標	当該領域を先導する研究を実施し、その成果を発表する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	海外特別研修		科目区分	自由聴講
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC１・２・３年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	2 単位	
授業概要	１週間～３ヶ月程度、海外の大学、研修機関、公共機関等で薬科学に関する実地研修を行う。			
到達目標	本研修を通じて、国際的な環境の下で研究を行い、国際共同研究の進め方、研究内容を社会で実践する方法を習得すると共に体験、理解する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	薬理学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	薬理学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	薬理学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	薬理学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	臨床分析化学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	臨床分析化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	臨床分析化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	臨床分析化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子細胞生化学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	分子細胞生化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子細胞生化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	分子細胞生化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	薬物送達学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	薬物送達学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	薬物送達学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	薬物送達学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	衛生化学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	衛生化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	衛生化学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	衛生化学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	代謝制御薬学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	代謝制御薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	代謝制御薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	代謝制御薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	遺伝子制御薬学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	遺伝子制御薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	遺伝子制御薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	遺伝子制御薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命機能解析学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	生命機能解析学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命機能解析学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	生命機能解析学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命薬科学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	生命薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命薬科学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	生命薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命薬科学特別研究		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC３年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	20 単位	
授業概要	当該領域を先導する研究を実施し、その成果を発表する。			
到達目標	当該領域を先導する研究を実施し、その成果を発表する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	臨床薬学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	臨床薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	臨床薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	臨床薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	臨床薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	臨床薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	がん化学療法薬学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	がん化学療法薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	がん化学療法薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	がん化学療法薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生活習慣病治療薬学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	生活習慣病治療薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生活習慣病治療薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	生活習慣病治療薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	病態分子薬学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	病態分子薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	病態分子薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	病態分子薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	医薬品評価学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	医薬品評価学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	医薬品評価学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	医薬品評価学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	社会薬学マネジメント特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	社会薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	社会薬学マネジメント特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	社会薬学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	医療薬学特別演習Ⅰ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4 単位	
授業概要	医療薬学に関する研究ならびに関連の論文を詳細に解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	医療薬学特別演習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	４単位	
授業概要	医療薬学に関する研究ならびに関連の論文を詳細に解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	医療薬学特別研究		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 4 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	20 単位	
授業概要	医療薬学に関する高度な知識をもとに、主体的に課題を発見し、研究を行う。			
到達目標	当該領域を先導する研究を実施し、その成果を発表する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	臨床腫瘍学特別講義Ⅰ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	2 単位	
授業概要	がん薬物療法に関する基本的な知識を習得する。			
到達目標	多様な腫瘍性疾患の病態、治療選択、治療モニタリング、評価に関する知識の理解を深める。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	臨床腫瘍学特別講義Ⅱ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	2 単位	
授業概要	がん薬物療法に関する基本的な知識を習得する。			
到達目標	多様な腫瘍性疾患の病態、治療選択、治療モニタリング、評価に関する知識の理解を深める。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	臨床腫瘍学特別講義Ⅲ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	4 単位	
授業概要	がん薬物療法に関する基本的な知識を習得する。			
到達目標	多様な腫瘍性疾患の病態、治療選択、治療モニタリング、評価に関する知識の理解を深める。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	がん薬物療法学演習		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	４単位	
授業概要	がん薬物療法に関する基本的な知識・態度を習得する。			
到達目標	腫瘍性疾患の模擬症例を用いて、病態解析、治療計画、治療評価に関する理解を深める。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	がん専門薬剤師実習		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC３年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	5 単位	
授業概要	がん薬物療法に関する基本的な知識・態度・技能を習得する。			
到達目標	腫瘍性疾患の症例解析を通じて、病態解析、治療計画、治療評価に関する理解と技能を深める。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	医療薬学課題研究 DC		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 4 年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	10 単位	
授業概要	それぞれの研究室において、課題を発見し、研究を行う。			
到達目標	最先端の研究を推進する能力と当該分野をリードする技術を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	スーパージェネラリスト・ファーマシスト養成セミナー		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	1 単位	
授業概要	医療薬学を先導する研究者、薬剤師の講演を聞き、最先端の知識、考え方を学ぶ。			
到達目標	先導的薬剤師として必要な最先端の知識を得る。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	ゲノム解析学演習		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	2 単位	
授業概要	医薬品の薬物動態、効果、あるいは副作用発現の個人差には、薬物代謝酵素やトランスポーターなどの遺伝子多型が影響する場合があり、患者個々に最適な薬物療法を提供するためのファーマコゲノミクス（PGx）解析研究が注目されている。本演習では、PGx に関する最新の研究成果、さらに PGx 情報がどのように医療に応用されているかを理解する。			
到達目標	ヒトの遺伝的多様性とその意味を説明できるとともに、ゲノム解析に基づく個別化医療の現状と問題点を理解する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	メタボローム解析演習		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	2 単位	
授業概要	メタボローム解析の原理、方法、応用性に関する基礎的知識・態度を習得する。			
到達目標	医療薬学領域におけるメタボローム解析に基づく患者層別化の現状と問題点を理解する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	病態解析学演習		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	２単位	
授業概要	臨床薬学の領域で実施される主に心血管疾患の病態・治療、また、それらの領域の研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域を先導する研究者としての高度な知識とともに、課題発見能力と解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	ゲノム解析実習Ⅰ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	2 単位	
授業概要	先進医療においては、ゲノム情報に基づき、患者個々に最適な薬物療法を提供することが望まれている。今後は、ゲノム解析結果をもとに一元的に判断するのではなく、ゲノム解析の方法、精度等を十分理解し、得られたデータを解釈し、医療に適切に応用する力の育成が必要である。本実習では、ゲノム解析の基本的な方法と原理を学ぶとともに、データ解析の方法と意味を理解する。			
到達目標	ゲノム解析の基本的手技ならびにデータ解析方法を習得する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	ゲノム解析実習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	２単位	
授業概要	先進医療においては、ゲノム情報に基づき、患者個々に最適な薬物療法を提供することが望まれている。今後は、ゲノム解析結果をもとに一元的に判断するのではなく、ゲノム解析の方法、精度等を十分理解し、得られたデータを解釈し、医療に適切に応用する力の育成が必要である。本実習では、ゲノム解析の最先端の方法と原理を学ぶとともに、適したデータ解析の方法を理解する。			
到達目標	ゲノム解析のせい先端の手技ならびにデータ解析方法を習得する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	メタボローム解析実習Ⅰ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	2 単位	
授業概要	メタボローム解析の原理、方法、応用性に関する基礎的知識・技能を習得する。			
到達目標	メタボローム解析の基本的手技ならびにデータ解析方法を習得する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	メタボローム解析実習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	２単位	
授業概要	メタボローム解析の原理、方法、応用性に関する基礎的知識・技能を習得する。			
到達目標	メタボローム解析の基本的手技ならびにデータ解析方法を習得する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	ローテーション実習Ⅰ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC 1 年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	2 単位	
授業概要	各専門分野の実務・研究を体験し、医療薬学の現状と問題点を理解し、解決策を提案できる資質を習得する。			
到達目標	医療薬学を実践する薬剤師の資質、態度、技能について習得する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	ローテーション実習Ⅱ		科目区分	選択必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	DC２年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	２単位	
授業概要	各専門分野の実務・研究を体験し、医療薬学の現状と問題点を理解し、解決策を提案できる資質を習得する。			
到達目標	医療薬学を実践する薬剤師の資質、態度、技能について習得する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（　　）			
成績評価法	薬学研究科教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				